

飼料作物作付面積の拡大に向けて

平成 18 年産飼料作物作付面積の動向と今後の対策

1 作付面積の推移

平成18年の作付面積(速報値)は8年連続の減で898.1千ha(対前年7.7千ha減、対前年比0.9%減)となった(表1-1)。

これを地帯別に見ると、減少分の2/3弱(4.9千ha)を都府県が占めている(表1-2)。

牧草類・青刈類の別では、減少分の約7割(5.5千ha)を牧草類が占め、北海道で3.0千ha、都府県で2.5千ha減少している(表1-3)。一方、青刈類については北海道で0.3千ha増加したのに対し、都府県で2.4千ha減少している。

田畑別では、減少分の約7割(5.5千ha)を畑地が占め、北海道で2.5千ha、都府県で3.0千ha減少している(表1-4)。一方、水田においては、北海道が0.2千haと微減であったのに対し、都府県では1.9千ha減少している。

2 要因解析

- ・北海道においては、作付減のほぼ全量が畑地の牧草作付の減であり、主として畜産農家戸数の減少が原因と考えられる。これは1戸当たりの作付面積が増加しているにも関わらず、酪農家の減少傾向が続いているため、トータルの作付がマイナスとなっているものである(表2、3)。
- ・都府県においては、牧草・青刈別、田畑別ともに作付が減少しているが、特に水田での牧草、畑地での青刈類の作付減少が目立つ。1戸当たりの作付面積が北海道ほど増加せず、畜産農家の減少も続いているため、トータルの作付の減少傾向が止まらない状況である。
- ・都府県の水田においては、上記に加え大豆等他作物への作付転換の影響も考えられ(表4)水田における飼料作物作付のメリットに係る啓発活動が不十分であったと思われる。
- ・このような作付減少傾向の中、北海道の青刈類作付面積は対前年0.3千ha増。道東などのトウモロコシ作付限界地に対応した「ぱぴりか」の導入効果等により、作付の減少は底を打ったものと考えられる。

3 今後の対策

関係機関それぞれの立場から、以下に示すような課題ごとの対応策を活用して減少に歯止めをかけ、増加に転じる対策を講じられたい。

- ・各種事業を契機とした担い手への農地集積、また、農地集積に関するインセンティブ強化
- ・飼料生産の外部化の役割を担うコントラクターの育成促進
- ・肉用牛増頭対策と連携した放牧活用による耕作放棄地の活用、発生抑制
- ・新たな耕畜連携対策等を活用した水田における安定した作付面積の確保
- ・単収増を目指した青刈類の作付強化。地域に適した品種の普及、細断型ローラー等省力化技術の普及促進

表1 - 1 飼料作物作付面積

単位：ha

年	飼料作物計	牧草類				青刈り類				(参考)	
		北海道		都府県		北海道		都府県		畑(飼料作物を含む全体)	
		田	畑	田	畑	田	畑	田	畑	北海道	都府県
平成 8年	974,700	14,500	569,200	68,200	174,700	1,480	36,100	36,500	74,400	960,000	1,309,000
平成 9年	965,600	15,100	566,400	67,200	172,100	1,260	36,700	34,400	72,200	957,300	1,290,000
平成10年	968,700	16,300	565,700	75,400	167,900	1,110	36,400	36,700	69,500	954,300	1,272,000
平成11年	960,500	16,100	564,300	75,200	164,500	1,100	36,800	35,600	66,600	950,900	1,256,000
平成12年	944,700	16,500	559,800	71,400	161,700	930	36,100	34,800	63,700	949,600	1,239,000
平成13年	940,400	18,300	556,400	71,400	158,500	1,110	35,300	37,400	62,000	947,100	1,223,000
平成14年	934,600	16,700	556,700	66,800	160,900	1,450	35,600	36,500	59,800	945,300	1,210,000
平成15年	929,400	17,300	556,300	66,500	157,900	1,570	36,000	35,700	57,900	943,500	1,201,000
平成16年	914,400	15,400	554,700	62,600	155,700	950	35,900	31,400	57,900	942,500	1,196,000
平成17年	905,800	14,700	552,900	60,500	154,400	1,020	34,800	29,900	57,000	941,000	1,195,000
平成18年	898,100	14,500	550,100	59,200	153,200	1,020	35,100	29,300	55,200	938,800	1,190,000
H18-H17	7,700	200	2,800	1,300	1,200	± 0	+ 300	600	1,800	2,200	5,000
H18/H17	0.9%	1.4%	0.5%	2.1%	0.8%	± 0.0%	+ 0.9%	2.0%	3.2%	0.2%	0.4%

表1 - 2 地帯別

単位：ha

年	北海道	都府県
平成17年	603,420	301,800
平成18年	600,720	296,900
H18-H17	2,700	4,900
H18/H17	0.4%	1.6%

表1 - 3 草種・地帯別

単位：ha

年	牧草類		青刈り類	
	北海道	都府県	北海道	都府県
平成17年	567,600	214,900	35,820	86,900
平成18年	564,600	212,400	36,120	84,500
H18-H17	3,000	2,500	+ 300	2,400
H18/H17	0.5%	1.2%	+ 0.8%	2.8%

表1 - 4 田畑別

単位：ha

年	田		畑	
	北海道	都府県	北海道	都府県
平成17年	15,720	90,400	587,700	211,400
平成18年	15,520	88,500	585,200	208,400
H18-H17	200	1,900	2,500	3,000
H18/H17	1.3%	2.1%	0.4%	1.4%

表 - 2 一戸当たり飼料作物作付面積の推移

単位: ha/戸

年	乳用牛		肉用牛			乳用牛の 対前年比	
	北海道	都府県		北海道	都府県		
平成8年	17.5	41.0	5.3			-	
平成9年	17.7	41.3	5.4			101.1%	
平成10年	18.1	42.1	5.2			102.3%	
平成11年	19.5	44.5	5.5			107.7%	
平成12年	-	-	-			-	
平成13年	19.8	45.6	5.1			101.5%	
平成14年	20.3	47.3	4.9			102.5%	
平成15年	20.5	47.1	5.1			101.0%	
平成16年	22.2	49.0	5.5	2.4	26.4	1.5	108.3%
平成17年	23.4	51.2	5.8	2.2	26.8	1.4	105.4%

*平成12年はセンサス年のためデータはない

*平成8～15年は肉用牛については未調査

*乳用牛は10頭規模層以上のデータ

*H18年のデータは未確定(今月中に確定予定)

表 - 3 大家畜飼養農家戸数の推移

単位：戸

年	計		乳用牛			肉用牛			計の対前年比	
	北海道	都府県	北海道	都府県	北海道	都府県				
平成8年	196,500	15,600	180,900	41,600	11,400	30,200	154,900	4,200	150,700	-
平成9年	182,100	14,900	167,200	39,300	11,000	28,300	142,800	3,900	138,900	92.7%
平成10年	170,800	14,300	156,500	37,400	10,600	26,800	133,400	3,700	129,700	93.8%
平成11年	160,000	13,900	146,100	35,400	10,300	25,100	124,600	3,600	121,000	93.7%
平成12年	150,100	13,500	136,600	33,600	10,000	23,600	116,500	3,500	113,000	93.8%
平成13年	142,300	12,900	129,400	32,200	9,600	22,600	110,100	3,300	106,800	94.8%
平成14年	134,900	12,600	122,300	30,700	9,400	21,300	104,200	3,200	101,000	94.8%
平成15年	127,900	12,300	115,600	29,800	9,200	20,600	98,100	3,100	95,000	94.8%
平成16年	122,700	12,100	110,600	28,800	9,000	19,800	93,900	3,100	90,800	95.9%
平成17年	117,300	11,900	105,400	27,700	8,800	18,900	89,600	3,100	86,500	95.6%
平成18年	112,200	11,600	100,600	26,600	8,600	18,000	85,600	3,000	82,600	95.7%

表 - 4 水田における麦・大豆の作付面積

単位：ha

年	全国		北海道		都府県	
	麦	大豆	麦	大豆	麦	大豆
平成16年	173,900	114,710	27,900	9,110	146,000	105,600
平成17年	167,100	110,500	26,400	11,000	140,700	99,500
平成18年	167,300	117,500	27,400	16,300	139,900	101,200